

第178号

平成21年4月10日

病 院 だ よ り

日本病院機能評価更新認定について

多和田哲雄

かゆみとアトピー性皮膚炎 - そして新しい治療 -

山田 裕道

病院の出来事

国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1

TEL 045(813)0221 (代表)

FAX 045(813)7419 (庶務課)

URL <http://shinzen.jp>

日本病院機能評価更新認定について



平成9年、医療機関の機能を中立的な立場で評価する第三者機関として、財団法人日本医療機能評価機構が設立されました。

国民の医療に対する関心や要求が高まっている中、病院自らが患者主体の医療のあり方を考え、実践する上で、外部評価を受け

ることは必要不可欠なものになっています。受審により現状の客観的把握、効果的で具体的な改善策、改善方向の明示が可能になります。

評価項目は6領域600項目以上にのぼり、病院組織の運営と地域における役割、患者の権利と安全確保、療養環境と患者サービス、医療提供の組織と運営、医療の質と安全、病院運営管理につき7名前後のサーベイヤーが訪問審査に赴き、第三者の専門家の目による厳しい審査が行われます。

さて平成10年、神奈川県で一番目に機能評価認定を受けた病院が当院であることを皆さんはご存知でしたか？ただし認定は永続的なものでなく有効期間は5年間なので、一旦認定されても継続的改善が常に求められます。更新の度にハードルは高くなりましたが、当院は平成20年10月に2回目の更新審査を受審し、本年3月に更新認定を受けることができました。これは当院が地域中核急性期病院として、良質な親切な信頼される医療という理念の下、医療の質の向上を常に意識し、継続的な業務改善を心がけてきた結果であると自負しております。また受審にあたり職員全体のチームワークが良くなり、一体感と達成感が得られたことも大きな収穫であったと思います。

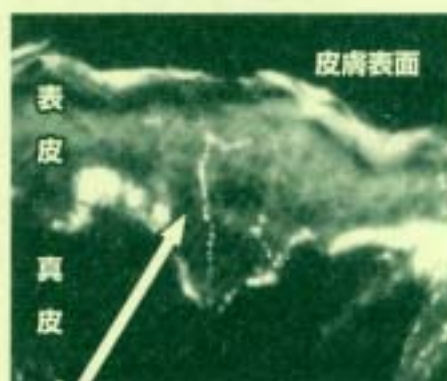
今後も全職員が一丸となって患者さん中心の良質なチーム医療を提供できるよう努めていきたいと思っております。

副院長 多和田 哲雄

かゆみとアトピー性皮膚炎 - そして新しい治療 -

アトピー性皮膚炎ではもちろんのこと、かぶれたとき、ジンマシンが出たときあるいは皮膚が乾燥したときにも「かゆみ」が生じます。「かゆみ」の経験のない人はまずいらっしゃらないでしょう。それくらいよくある症状ですが、「かゆみ」発症のメカニズムはこれまではよくわかっていませんでした。古くは「かゆみ」は痛みの弱い感覚であるという認識がありましたが、近年それが間違っていることが示されました。さらに最近の「かゆみ」の研究により以下のことが解ってきました。

図：「かゆみ」を伝達する「C線維」



表皮内に侵入した「C線維」

- ① 「かゆみ」は「C線維」と呼ばれる細い神経線維を伝わって皮膚から脳に伝達され、脳内で「かゆみ」を感じる。
- ② 「C線維」は正常皮膚では皮膚の深いところ（真皮）までしか来ていないが、乾燥皮膚やアトピー性皮膚炎では浅いところ（表皮）に侵入し、「かゆみ」に対し敏感になっている。
- ③ 「かゆみ」受容体には「ヒスタミン系」と「オピオイド系」の2種類があり、従来の痒み止め（抗ヒスタミン剤）が効かない「かゆみ」は「オピオイド系」が深く関与している。
- ④ その場合「オピオイド系」の拮抗剤を投与すると「かゆみ」がおさまることが明らかにされた。

そこで今回は乾燥皮膚やアトピー性皮膚炎における「かゆみ」対策を中心に、アトピー性皮膚炎に対する新しい治療、特にステロイド以外のぬり薬、のみ薬についてもお話ししたいと存じます。

皮膚科部長 山田 裕道

ご案内

このテーマは

平成21年5月8日(金) 15:00～約1時間の健康懇話会にて
講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

病院の出来事



◆表彰のお知らせ

横浜市食品衛生協会より栄養部の久保田信夫調理師が永年職務に精励し食品衛生の向上に寄与した模範であると認められ1月23日に表彰を受けました。

◆ミニコンサート開催

- ・1月17日(土) REM(レム)シスターズの皆さまによるフルート・オカリナ・バイオリン演奏
- ・2月21日(土) 当院の看護師(伊原崇文)をふくむ湘風会の皆さまによる津軽三味線演奏



前年のコンサートが大好評だったこともあり、院内にポスターが掲示された後は“待ち遠しい”とのお声をいただき、両日のコンサートとも心を込めた演奏に患者さんたちは本当に嬉しそうでした。



◆防災訓練実施

2月16日(月)午後2時より、当院の3A病棟を出火元と想定し火災訓練を実施しました。もしも院内で火災発生した時、第1に患者さんやスタッフの安全を確保し、初期消火活動を行うという非常に重要な責務を担います。したがって、いざと言う時に備えて年2回の訓練を行っております。

◆日本病院機能評価機更新認定

3月6日(金)日本病院機能評価機構より当院としては2度目の更新が認定されました。